

消防防災博物館

当博物館はインターネット上の仮想博物館です。建物は存在しません。

サイト内検索：

[検索](#)

[見て学ぶ](#)

[調べる](#)

[東日本大震災](#)

[防災展示場](#)

[こどものひろば](#)

[イベント・掲示板](#)

[日本の火山・世界の火山](#)

[防災訓練映像紹介](#)

[防災まちづくり](#)

[消防防災に関する情報通信](#)

[防災センター](#)

[消防防災GIS](#)

[基礎知識](#)

[報告書・記録集](#)

[消防専門知識の提供](#)

[防災専門知識の提供](#)

[教材資料コーナー](#)

[法令を探す](#)

[火災・事故防止に資する防災情報データベース](#)

[フリーワード検索](#)

[日本地図から検索](#)

[絞り込み検索](#)

[年度別優良事例リスト](#)

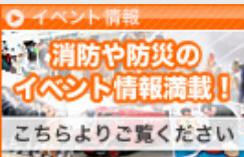


防災展示場

消防防災関連のアイテムを一堂に展示中！
▶ [すぐにアクセス](#)

消防防災GIS

活用情報やQ&A等を掲載しています。地図データやバージョンアップ版のダウンロードもできます。



関連サイト

- ≫ [総務省消防庁](#)
- ≫ [防災・危機管理e-カレッジ](#)
- ≫ [消防防災科学センター](#)

お役立ちリンク

- ≫ [法令を探す](#)

離島防災を担う中学生



玄界中学校少年消防クラブ（福岡県福岡市）

事例の内容

<経緯>

玄海国立公園の風光明媚な玄界島は、博多湾沖玄界灘に浮かぶ総面積1.75km²、標高218mのお椀を伏せた形の島で、南側傾斜面に木造住宅が集中し、229世帯760人が生活している。街区における住宅の建ぺい率は約73%と非常に高く、そのほとんどが階段状の宅地に屋根と屋根が接するように建築されている。

島民のほとんどは漁業従事者であり、出漁中における島内の防災活動は高齢者、婦人、子供だけが主体となっている。このため、昭和46年7月に玄界中学校少年消防クラブが結成された。

同クラブは3年生が正クラブ員で、1・2年生が準クラブ員として全校生徒で構成されており、平成13年で30年を迎える。

<内容>

活動は一年間を通して、正クラブ員を中心に7回程度訓練等の活動を行っている。内容は、島内に設置されている消火栓の調査や消火栓からの放水訓練、土壌を使った水防工法、心肺蘇生法を含めた応急処置などである。

訓練指導は、管轄する西消防署と福岡市防災協会が当たり、教職員及び玄

界島婦人自衛消防隊防火クラブが補助指導する。この他、火災予防運動時には島民の防災意識を高揚するため、予防広報等を実施している。

活動の中心である3年生は、卒業前の2月に行う引継式において準クラブ員の2年生に今後の活動を託し、クラブ旗を渡して活動を終了する。

<特色>

離島においては短時間で一定の消防力を結集するのは難しく、地元消防団もほとんどが漁業に従事しており、出漁時は留守になることが多いため、同クラブの果たす役割は地域における一つの防災体制のモデルと考えられる。



三角巾の使い方を習熟



救急救命訓練



応急担架をつくる訓練



消火訓練



放水訓練

苦勞・成功のポイント

住民のほとんどが地元水上消防団・婦人自衛消防隊防火クラブといった自

主防災組織に関わっており、家庭内において防災という親子共通の目的が島の安全に大きく寄与している。

成果・展望

同クラブは発足29年を経過し、島内における位置づけも高く、島に残る同クラブ出身者の防災に関する意識レベルは非常に高い。

なお、同クラブ発足後の玄界島における住宅火災発生は2件であり、犠牲者もいない。

実施期間

昭和46年～平成12年

事業費

0円

団体の概要

クラブ員：28名(全校生徒数)
正クラブ員(3年生)：7名
準クラブ員(1・2年生)：21名
創立以降の卒業生総数：530名

[▲ページトップへ](#)